

主催

JIME-IEE
JAPAN

後援



2025

日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 国際シンポジウム

米・イラン・イスラエル：
緊迫する中東情勢に日本は
どう立ち向かうか

講演資料



2025年12月16日（火） 13:30-17:20

経団連会館4階 ダイアンモンドルーム南

（東京都千代田区大手町1-3-2）**入場無料・要参加登録**

スピーカー＆パネリスト



ダリア・ダッサ・ケイ

UCLAバークル・センター
上級フェロー（米国）



メフラン・カムラヴァ

ジョージタウン大学
ドーハ校 教授（カタール）



上村 司

日本国政府代表・
中東和平担当特使

プログラム

第1部 米・イラン・イスラエル対立の 深層と将来への示唆（13:35-14:35）

- ・スピーカー：ダリア・ダッサ・ケイ
- ・コメンテーター：坂梨祥（中東研）
- ・モデレーター：小林周（中東研）

第2部 湾岸諸国から見た米・イラン・ イスラエル対立の深層と将来への示唆 （14:45-15:45）

- ・スピーカー：メフラン・カムラヴァ
- ・コメンテーター：堀抜功二（中東研）
- ・モデレーター：坂梨祥（中東研）

第3部 パネルディスカッション：中東 秩序の流動化に直面する日本の課題 （16:00-17:15）

- ・パネリスト：ダリア・ダッサ・ケイ、メフ
ラン・カムラヴァ、上村司、保坂修司（中東研）
- ・モデレーター：吉岡明子（中東研）

スピーカー＆パネリスト略歴

ダリア・ダッサ・ケイ Dalia Dassa Kaye

地政学と中東政策の専門家。米UCLAバークル・センター上級フェロー、同センター地域安全保障アーキテクチャ構想ディレクター、および米外交問題評議会の終身会員を務める。米ランド研究所に15年間在籍し、上級政治学者および中東公共政策センター所長を務めた。ランド大学フルブライト・シューマン招聘研究員、ウィルソンセンター研究員、オランダ外務省顧問、ジョージ・ワシントン大学助教授などを歴任。主要メディアでも発信し、著作多数。最新刊に『Enduring Hostility: The Making of America's Iran Policy』（スタンフォード大学出版会、2026）。カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号取得。

メフラン・カムラヴァ Mehran Kamrava

ジョージタウン大学カタール校教授、アラブ研究政策センターのイラン研究ユニットのディレクターも務める。専門はイラン、ペルシャ湾、中東政治の近現代史と現代政治。ケンブリッジ大学で博士号を取得し、多数の論文と著書を発表してきた。代表的著作に『How Islam Rules in Iran』（2024）、『Righteous Politics』（2023）、『Troubled Waters』（2018）、『Qatar: Small State, Big Politics』（2015）などがあり、中東地域研究・政治研究の第一人者として国際的に高く評価されている。

上村 司 Tsukasa Uemura

1981年東京大学法学部卒業、同年外務省に入省。在シリア大使館、在エジプト大使館、在アメリカ合衆国大使館勤務を経て、領事局長、中東アフリカ局長などを務める。在サウジアラビア大使を最後として、2021年に日本政府代表（中東和平担当特使）に就任。2023年に発生したガザ危機においても中東諸国を訪問し、問題の解決にあたっている。

保坂 修司 Shuji Hosaka

日本エネルギー経済研究所研究顧問。専門はペルシア湾岸地域近現代史、中東メディア論。在クウェート日本大使館および在サウジアラビア日本大使館で専門調査員。近畿大学教授を経て、2020年より日本エネルギー経済研究所理事・中東研究センター長。24年6月より現職。21年4月～25年3月に日本中東学会会長を務めた。1984年、慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。



質問フォームはこちら

<https://forms.office.com/r/L4nAHNZwcX>

- ご質問・コメントのある方は、質問フォームからご入力ください。セッション中であればいつでも受け付けますので、発表中に記入頂いても構いません。
- 質問フォームへのアクセスが難しい方は、受付までお問い合わせください。